

# 算数科学習指導案 略案（特別支援学級）

令和 年 月 日 ( ) 校時  
 ( ) 年生 ( ) 名 ( ) 年生 ( ) 名  
 ( ) 年生 ( ) 名 ( ) 年生 ( ) 名  
 合計 男子 名, 女子 名 計 名  
 指導場所 ( ) 学級  
 指導者 ( )

1 単元 「たし算」「ひき算」「筆算」「わり算」

2 本時の学習

(1) 個々の目標

- A 児・・・1桁+1桁（繰り上がりなし）の数式にタイルが付いたプリントが指を使わないでできる。
- B 児・・・2桁+2桁（繰り上がりあり）の筆算ができる。
- C 児・・・10の束+10の束（繰り上がりあり）が暗算でできる。
- D 児・・・2桁÷1桁（あまりなし, あまりあり）ができる。

(2) 実 際

過 程 (時間)	主な活動内容	指導上の留意点・備考	準備・資料	
導 入 (10分)	1 本時の学習を確認する。 (1) 活動内容（めあて）を確認する。	・ 個々に合っためあてを掲示することにより, 学習の見通しと意識化を図らせる。	・ めあてカード	
	・ じぶんのがくしゅうプリントを工夫してしよう。			
展 開 (30分)	<b>A 児（1年・男）</b> 活動内容・留意点 1 個人学習をする。 ① 暗算で繰り上がりのないたし算プリントをする。 〔留意点〕 ・ スモールステップを設定したプリントを使用する。	<b>B 児（2年・男）</b> 活動内容・留意点 1 個人学習をする。 ① 暗算で繰り上がりのあるたし算の筆算プリントをする。 〔留意点〕 ・ スモールステップを設定したプリントを使用する。	<b>C 児（3年・男）</b> 活動内容・留意点 1 個人学習をする。 ① 10の束+10の束（繰り上がりあり）のプリントを暗算でする。 〔留意点〕 ・ スモールステッププリントを使用する。	<b>D 児（4年・男）</b> 活動内容・留意点 1 個人学習をする。 ① 2桁÷1桁（あまりがなし, あまりあり）ができる。 〔留意点〕 ・ 本児は, 通常のプリントができるので, スモールステップを設定したプリントは, 使用しなくてもよい。 ・ 計算の能力が高いので, 多くの問題量に取り組みせる。
	終 末 (5分)	2 自己評価（反省）をする。  3 次時の学習について知る。	・ 「できた度（ど）」「がんばった度（ど）」表を用いて, 自己評価（反省）させる。 ・ もう一度, 同じ活動をすることを告げる。	・ 自己評価は掲示物を利用する。

(2) 評 価

- ・ 個々の目標が達成できたか。

【参考資料】

「数が苦手な子のための計算支援ワーク1～4」（大江浩光著, 菊池省三解説, 明治図書）

